

KIKAIYA

TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

ガレージジャッキハイブリッドリフト 3トン/2トン デュアルポンプ式 取扱説明書

【品番】 GJ-30

この度は「ガレージジャッキハイブリッドリフト 3トン 2トンデュアルポンプ式」を お買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく安全にご使用ください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3
(MAIL) info@kikaiya.com

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

(製品仕様などは予告なく変更される場合があります、お届けしたお品と本書記載内容の一部相違がある場合がございます)

■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

■注意事項

※このジャッキには安全弁が装備されています。安全バルブはいかなる方法でも変更または調整してはいけません。

- 本製品は、ジャッキアップ・ジャッキダウン専用です。
- 使用前には(溶接部のひび割れ、損傷、曲がり、摩耗、部品の緩み、欠落)等の異常がないか目視点検をしてください。
- 使用前や使用中に異常が見受けられた場合は、直ぐに使用を中止し点検をしてください。
- 荷重を長時間保持したり、車輛を持ち上げたまま移動させたりしないでください。
- 能力以上の荷重は絶対にかけないでください。(ジャッキの破損や重大な事故を起こす可能性があります)
- ジャッキアップする車の内に人がいないことを確認してから作業してください。
- 子供を近づけないでください。
- 必ず自動車メーカーが指定したジャッキポイントで上昇させてください。
- 自動車をジャッキアップさせた後、作業を始める前には必ず適切な位置にジャッキスタンドなどで荷重を受けてください。作業中も常にスタンドを使用してください。ジャッキアップした状態で車の下に入らないでください。
- 荷重は受け台の中心で受けてください。受け台の端で荷重を受けるとジャッキポイントが外れたり、ジャッキが破損したりする恐れがあります。
- ジャッキアップは、ジャッキスタンドが入る高さで止めてください。
- ジャッキは水平なコンクリートなど強固な土間の上でお使いください。
- 警告ラベルやシールは汚したり、剥がしたりしないでください。
- 製品に異常な負荷や衝撃が加わったと思われる場合は直ちに点検をしてください。

■仕様

商品名	品番	最大能力	最低位	最高位	重量
ガレージジャッキハイブリッドリフ 3トン・2トン デュアルポンプ式	GJ-30	(SUV ポジション)3トン (LOW ポジション)2トン	約 92mm	約 770mm	約 44.4kg

SIZE

【単位(約): mm】



8 in 1



■使用方法

【ジャッキを SUV ポジションで使用する場合】

1. ハンドルをポンピングして受け台を少し上に上げます。	2. 受け台のハンドルを手で持ちロックピンを引き抜きます。 (受け台ハンドルを少し揺るとピンが外れやすい)	3. 受け台を手動で90度の位置まで上げて、ロックピンを上部の穴に挿入します。
		

【ジャッキアップ(上昇)】

1. ご使用は水平なコンクリートなど、強固な床面の上でご使用ください。
2. 車輻は常にパーキングブレーキをかけた状態にし、車輻が動かないように車止めをします。
3. 車輻メーカーが指定したジャッキアップポイントの下に本製品を設置してください。
(ジャッキアップポイントは、車輻の取扱説明書をご確認ください)
4. ハンドルを使ってリリースバルブを時計回りに回し、バルブを締めます。※締め過ぎに注意してください
5. ハンドルをポンピング(ハンドルを上下)し、車輻をジャッキアップします。
6. ジャッキスタンドを車輻メーカーが指定した適切な位置へ配置します。(車輻の取扱説明書をご確認ください)
※ジャッキスタンドをせずに車輻の下には入らないでください。
※本製品は長時間にわたって重い負荷を維持するようには設計されていません
7. ハンドルをゆっくりと反時計回りに一回転して、ジャッキスタンドへの負荷を下げます。

※ハンドルは回転し過ぎると、バルブが外れる恐れがあります※

【ジャッキダウン(下降)】

1. ハンドルを時計回りに回してバルブを締めます。
2. ハンドルをポンプアップ(ハンドルを上下)し車輻をジャッキスタンドから持ち上げます。
3. ジャッキスタンドを取り外します。 ※車輻の下に入らないように注意してください。
4. ハンドルをゆっくりと反時計回りに一回転してジャッキダウンさせます。

※ハンドルは回転し過ぎると、バルブが外れる恐れがあります※

■メンテナンス

定期的(月1回)にメンテナンスをする事で、製品寿命を延ばし長くご使用頂けます。

- ジャッキは常に綺麗に清掃してください。
- 泥や埃・オイルなどが付着した場合は、必ず綺麗に拭き取って保管してください。
- ジャッキを雨の中で使用や、水をかけないでください。
- ジャッキは屋内で保管してください。野外や湿気・埃の多いところには置かないでください。
- オイル量をチェックし、不足している場合は補充します
- 使用しない時は常にジャッキのサドルとラムを一番下まで下げた状態にしてください。
- シールを損傷する可能性があるため、必ず【作動油#30】をご使用ください。
- ジャッキを使用する前には下記の箇所を点検してください。
 - ✓ シリンダーやハウジングのひび割れ
 - ✓ ボルト・ネジの緩み
 - ✓ キャスターや可動部の給油
 - ✓ 作動油の漏れの有無
 - ✓ ボデーの曲がり・溶接個所の状況
 - ✓ ピストンロッドの錆や腐食

【オイル充填手順】

1. ハンドルを反時計回りに1回転して、シリンダーが完全に下まで下げます。
※下げるために受け台に力を加える必要があるかもしれません。
2. 本体の検査プレート【パーツリスト④③】を取り外します。
3. ジャッキを水平位置にした状態で、オイルプラグ【パーツリスト④】を取り外します。
4. ハンドルソケットを下にして、ジャッキを垂直位置に立てます。オイルは穴の底と同じ高さにする必要があり、そうでない場合はオイル【作動油#30】を充填します。充填するオイルは新しいオイルを使用してください。
5. オイルプラグ【パーツリスト④】と検査プレート【パーツリスト④③】を元に戻しジャッキの動作を確認してください。
※必要に応じてエア抜きをしてください。

【エア抜き手順】

輸送後や修理後・作動油が不足した時はシリンダーにエアが噛む事があります。
エア噛みをするると動きが遅くなる、ジャッキが上昇しない・自然降下するなどの症状が出ます。
その場合は下記要領で「エア抜き」を行ってください。(必ず無負荷状態で行ってください。)

1. ハンドルを時計回りに回してバルブを締めます。
2. ラムが最大の高さに達するまでハンドルをポンピング(ハンドルを上下)します。
3. オイル充填プラグを注意しながらつまみ、閉じ込められた空気を解放します。
4. ハンドルを反時計回りに1回転させ、受け台を最低位置まで下げます。必要に応じて力を入れてください。
5. ハンドルを時計回りに回しバルブを締めて、ハンドルをポンピング(ハンドルを上下)して動作確認をします。
※上記要領でも上手く動作しない場合は、上記操作2～5を数回程繰り返してください。

■トラブルシューティング

状 況	原 因	処 置 方 法
■ ジャッキが上昇しない	● オイルが不足している	✓ 作動油(#30)を補充する
	● エアーが噛んでいる	✓ エアー抜きを行う
	● 許容荷重を超えている	✓ 適当なジャッキを使用する
	● バルブ・チェック弁の不良	✓ バルブの清掃または交換
	● シリンダーの不良	✓ パッキンの交換及び作動油の交換
■ 上昇スピードが遅い	● ポンプの不良	✓ ポンプの交換
	● シリンダーパッキンの不良	✓ シリンダーパッキンの交換
■ ジャッキが自然降下する	● シリンダーパッキンの不良	✓ シリンダーパッキンの交換
	● バルブ・チェック弁の不良	✓ バルブの清掃または交換
	● エアーが噛んでいる	✓ エアー抜きを行う
■ オイル漏れ	● パッキンの不良	✓ シールキットを交換する

■パーツリスト

